

問1 18世紀後半、幕府の財政を立て直すために商工業者の株仲間を公認し、営業税を納めさせた老中は誰？

1. 松平定信 2. 水野忠邦 3. 徳川吉宗 4. 田沼意次

問2 資本家が作業場に労働者を集め、手作業による分業で製品を生産する方式を何という？

1. 問屋制家内工業 2. 工場制機械工業 3. 工場制手工業 4. 家内制手工業

問3 徳川家康が政権を開き、後に全国支配の拠点となった場所はどこ？

1. 平城京 2. 大坂 3. 京都 4. 江戸

問4 江戸時代後期に三十五年以上の歳月をかけて、古事記の注釈書を完成させた国学者は誰？

1. 荷田春満 2. 賀茂真淵 3. 本居宣長 4. 平田篤胤

問5 江戸時代、幕府から認められて朝鮮との外交や貿易の実務を独占的に担っていた藩を何という？

1. 対馬藩 2. 長州藩 3. 松前藩 4. 薩摩藩

問6 1689年、イギリスの議会の権利を認め、立憲君主制の基礎となった法典を何という？

1. 大憲章 2. 独立宣言 3. 人権宣言 4. 権利の章典

問7 江戸時代、町人の中で広く愛された、木版画で刷られた風俗画を何という？

1. 浮世絵 2. 屏風絵 3. 障壁画 4. 水墨画

問8 17世紀後半のイギリスで、国王の権力を制限して議会政治の基礎を確立した出来事を何という？

1. 名誉革命 2. フランス革命 3. 清教徒革命 4. アメリカ独立革命

問9 享保の改革を行い、新田開発や年貢増収による財政再建を図った第8代将軍は誰？

1. 徳川家重 2. 徳川吉宗 3. 徳川家継 4. 徳川家宣

問10 幕府の命を受け、日本全国を歩いて測量し、正確な地図を作成した人物は誰？

1. 杉田玄白 2. 平賀源内 3. 伊能忠敬 4. 本居宣長

問11 17世紀のイギリスで、国王の権力を制限し議会政治の基礎となった、名誉革命の結果として制定された法律を何という？

1. 大憲章 2. 人権宣言 3. 権利の請願 4. 権利の章典

問12 17世紀に、東南アジア諸国との貿易の中継地として発展し、江戸幕府の直接貿易開始とともにその役割を終えた国を何という？

1. 清帝国 2. 琉球王国 3. 蝦夷地 4. 朝鮮王国

問13 江戸時代に普及し、脱穀の作業効率を飛躍的に高めた農具を何という？

1. 唐箕 2. 踏車 3. 千歯こき 4. 備中ぐわ

問14 鎖国下において、日本が長崎での貿易を許可した相手国として、オランダ以外の国はどこ？

1. オランダ 2. 朝鮮 3. 中国 4. 台湾

問15 江戸時代に日本と朝鮮の間で定期的に行われた、外交や文化交流を目的とした使節団を何という？

1. 遣唐使 2. 勘合貿易 3. 遣隋使 4. 朝鮮通信使

答え合わせ・解説

問1	答え 4 田沼意次	田沼意次は、商工業者の同業者組織である「株仲間」を積極的に公認しました。それにより幕府は、株仲間から運上金や莫加金という名目で税を徴収し、財政の安定を図りました。また、長崎貿易を拡大するなど、貨幣経済の流通を活発化させる政策を推進しました。
問2	答え 3 工場制手工業	工場制手工業（マニュファクチュア）は、資本家が生産道具を所有し、職人や農民を仕事場に集めて、工程を細分化して分業させる仕組みです。これにより、単独で製品を作るよりも高い効率で生産が行えるようになりました。
問3	答え 4 江戸	家康は、かつては寒村であった江戸を大規模な土木工事によって整え、城下町として整備しました。参勤交代の制度により、全国から大名や商人が集まる巨大都市へと成長させました。
問4	答え 3 本居宣長	本居宣長は、三重県の松阪を中心に活動し、三十五年以上の歳月をかけて『古事記伝』を著しました。彼は古事記を読み解くことで、日本人の心のあり方や古来の知恵を明らかにしようとしていました。
問5	答え 1 対馬藩	「対馬藩」は、朝鮮との国交回復や外交交渉を幕府から任されていました。釜山に設けられた「倭館」を拠点として交易を行い、外交使節の案内役も務めました。幕府にとって、対馬藩は外交上の重要な「四つの窓口」の一つでした。
問6	答え 4 権利の章典	名譽革命後の1689年に制定された「権利の章典」は、国王の権利を制限し、議会の権限を強化しました。これにより、議会が法律の制定や税金の承認を行うという原則が確立されました。
問7	答え 1 浮世絵	浮世絵は、当時の街中の様子、歌舞伎役者、美しい女性、あるいは旅行ブームに伴う各地の名所を描いた絵画です。木版画として大量に印刷できたため、手軽に購入できる娯楽として普及しました。喜多川歌麿の美人画や、葛飾北斎、歌川広重の風景画などが特に有名です。
問8	答え 1 名譽革命	1688年、議会は国王を追放し、新たに国王を招いて『権利の章典』を認めさせました。これにより、国王といえども議会の承認なしには法律を無視できないという原則が確立され、イギリスにおける立憲君主制と議会政治の土台が築かれました。
問9	答え 2 徳川吉宗	徳川吉宗は、第8代将軍として就任し「享保の改革」を推進しました。過度な儉約を奨励し、新田開発による農地拡大を図るとともに、年貢の徴収基準を上げるなどの政策をとりました。また、目安箱を設置して庶民の意見を政治に反映させようともしました。
問10	答え 3 伊能忠敬	隠居後に江戸へ出て天文学を学んだ伊能忠敬は、幕府の命を受けて55歳から17年間にわたって日本全国を測量して回りました。その測量技術は非常に精密で、当時の西洋の科学技術と比べても遜色ない正確さでした。
問11	答え 4 権利の章典	この法律は、国王が勝手に法律を停止したり、税金を集めたりすることを禁じました。これにより、議会が政治の主導権を握るという議会政治の仕組みが決定づけられました。
問12	答え 2 琉球王国	東シナ海の中継貿易拠点として非常に重要な役割を担っており、特に明との朝貢貿易で手に入れた商品を、日本などに転売することで大きな富を得ていました。しかし、17世紀に江戸幕府が対外的な制限を強め、また日本が直接貿易を行うようになると、次第にその経済的な優位性は低下していきました。
問13	答え 3 千歯こき	千歯こきは、多数の金属製の歯を並べた台に稲の穂を挟み、引き抜くことで効率よく脱穀できる道具です。それまでの手作業に比べて短時間で大量の処理が可能になりました。
問14	答え 3 中国	鎖国政策が完成した後も、幕府は長崎に限定して貿易を許可しました。キリスト教を広めないオランダと、中国（当時は清）のみがその対象でした。貿易を通じて、漢籍や医薬品などが輸入され、日本の学問や文化にも少なからぬ影響を与えました。
問15	答え 4 朝鮮通信使	朝鮮通信使は、数100人規模の行列で江戸へ向かい、儒教の教えや最新の文化・学問を日本に伝えました。日本側はこれを盛大に迎え、各地で筆談や学問交流が行われました。